☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 輝く地域の星となれ ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

報道で見る氷上西高　２０１８

神戸新聞　平成３１年２月４日（月）

若者Box席

人間が議論して技術活用を

桑形　希美　18歳
（高校生　丹波市）

スマートフォンなど10年前には存在しなかったものが実用化され便利になり、技術は日々非常に進歩している。しかし技術の進歩がもたらすものは良いものだけではないと思う。例えば技術が人間の仕事を奪い、人工知能（ＡＩ）が人間を支配する不安や心配、危険性が指摘されている。

技術は可能か不可能かではなく、その技術は本当に必要なことなのかを十分に検討し議論する必要があると私は思う。物事を決める時には、たとえ技術を利用したりＡＩに頼ったりするとしても最終的には人間が決断するべきであると思う。

「１本のナイフはパンを切るためにも喉を切るためにも使用できる」という言葉があるが、このように便利なものでも使い方を間違えると危険なものになる。技術の進歩を悪用し危険なものにするのではなく、人間が検討したり議論をしたり判断することで技術の進歩を生かすことができる。そんな社会になってほしいと私は思う。